

4 . 平成 16 年度第二次調査(11 月 ~ 12 月)計画

(1) 各調査項目における調査地点の選定方法

1) 表層ガス調査

平成 16 年度第一次調査の物理探査の結果、不審物が埋設されている可能性が検知された地点の表層部全てを対象とする。

なお、調査に際しては、最大 10 地点の表層ガスを 1 つの吸着管で採取し、最大 10 地点を 1 検体としてまとめて分析を行う。

図 1 - 1 (寒川) 図 1 - 2 (平塚) 図 1 - 3 (習志野) 参照

2) 土壌調査

平成 16 年度第一次調査の物理探査が終了した裸地を対象とする。

深さ 1 m 以上の土壌の入れ替えや掘削等の情報がある区域は除外する。

100m²を 1 区画として、区画内から採取した土壌を分析する。一連の広い土地の場合には、最大で 9 つ程度の区画内(900m²)の試料を採取し、それらを均質に混合して 1 検体として分析する。

図 2 - 1 (寒川) 図 2 - 2 (平塚) 図 2 - 3 (習志野) 参照

(2) 今回の調査の予定数量

| | 対象面積 (m ²) | 物理探査面積 (平成 16 年度) (m ²) | 表層ガス 検体数 | 土壌 検体数 |
|-----|---------------------------|---|-------------|-----------|
| 寒川町 | 537,000 | 22,400 | 18 | 38 |
| 平塚市 | 90,000 | 3,600 | 4 | 7 |
| 習志野 | 207,000 | 19,200 | 26 | 47 |
| 合計 | 834,000 | 45,200 | 48 | 92 |

区域内面積全体から、旧軍の建屋があったところや過去に 3 m 以上の掘削履歴が判明しているところを除外した面積。

図 1-1 寒川町における表層ガス調査位置図

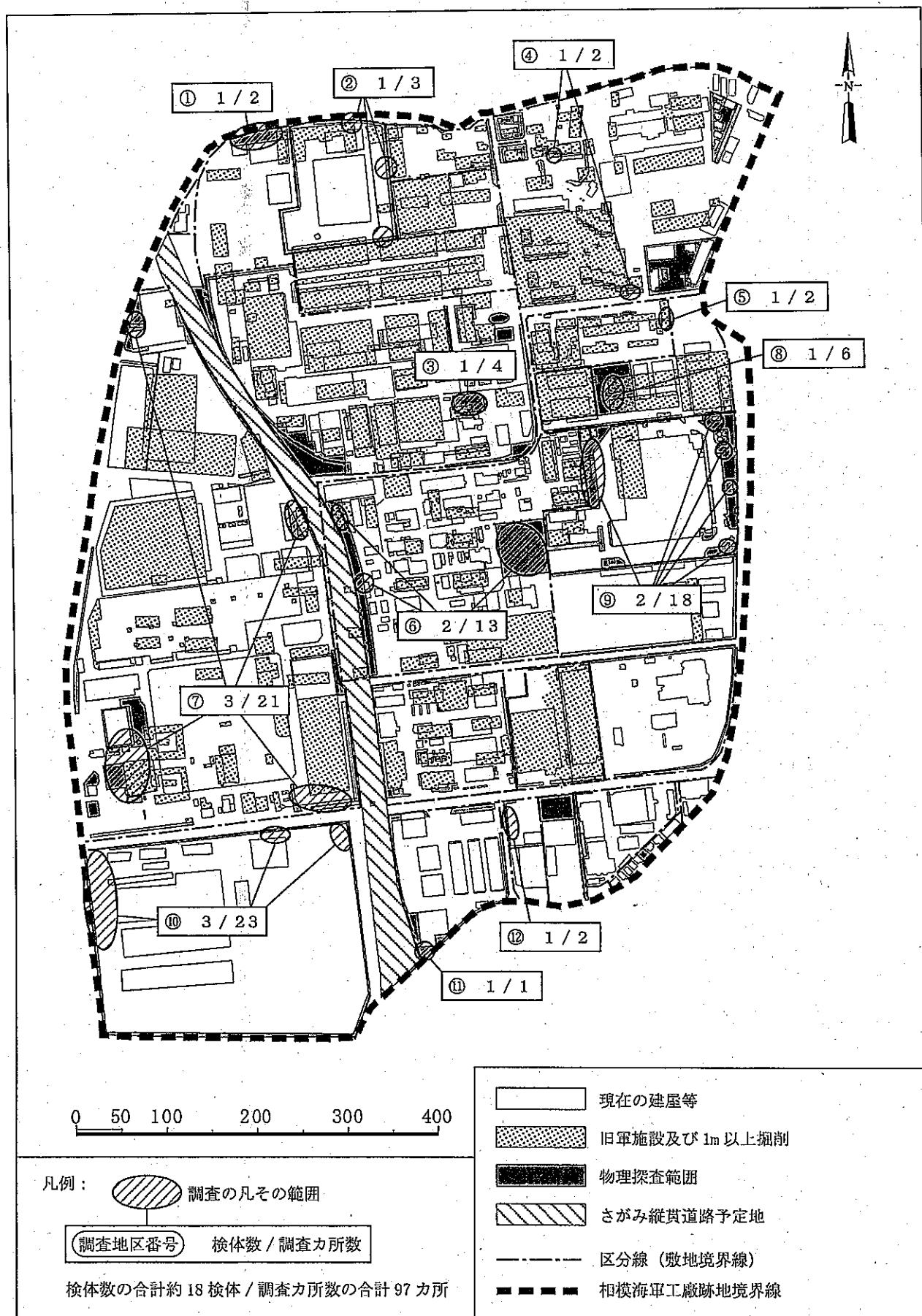
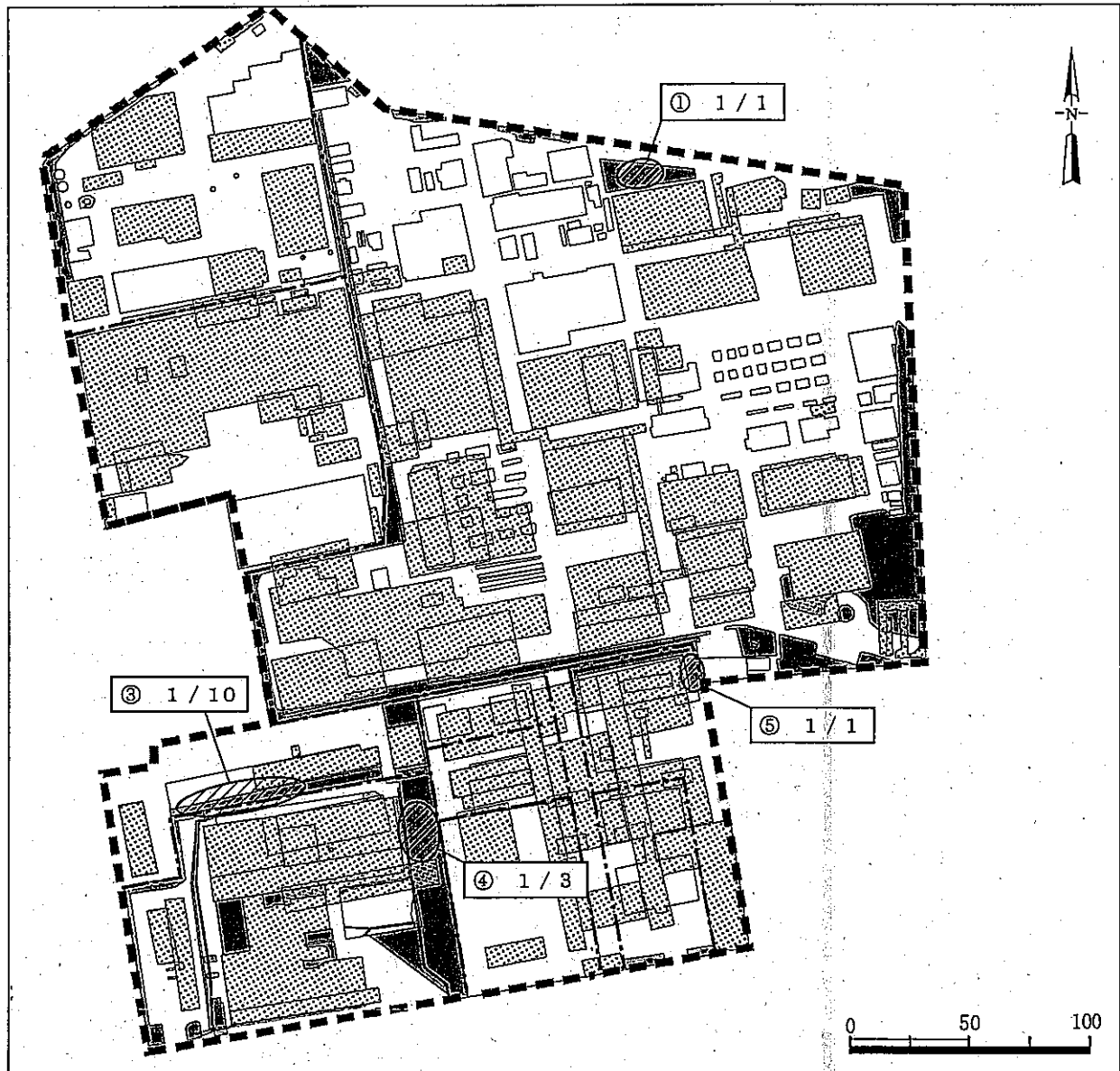


図 1-2 平塚市における表層ガス調査位置図




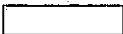



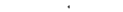
| | |
|---|---|
| <p>凡例：</p> <p> 調査の凡その範囲</p> <p>調査地区番号 検体数 / 調査カ所数</p> <p>検体数の合計約 4 検体 / 調査カ所数の合計 15 カ所</p> | <p> 現在の建屋等</p> <p> 旧軍施設及び 3m 以上掘削</p> <p> 物理探査範囲</p> <p> 区分線 (敷地境界線)</p> <p> 相模海軍工化学実験部跡地境界線</p> |
|---|---|

図 1-3 習志野市及び船橋市における表層ガス調査位置図

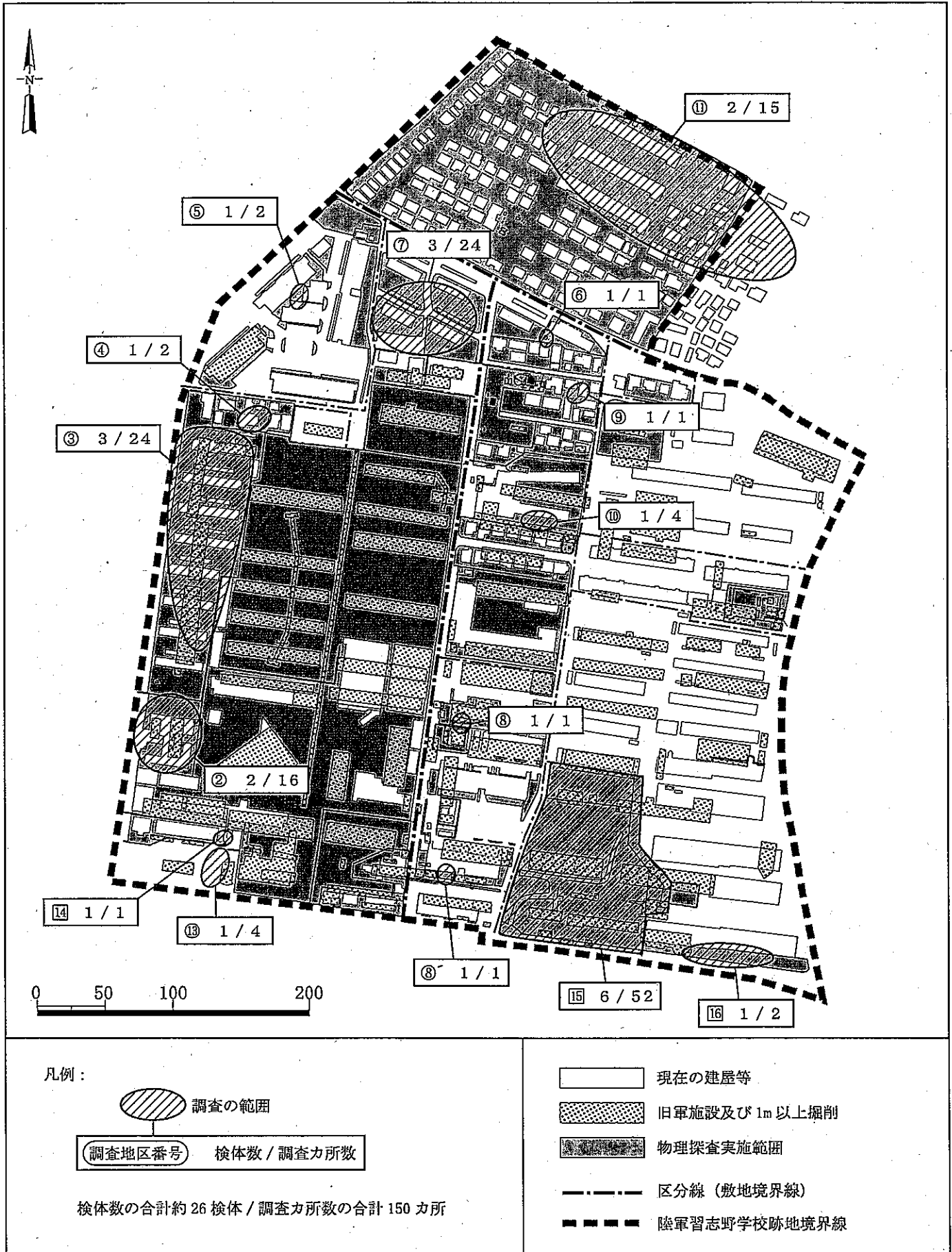


図2-1 寒川町における土壌調査位置図

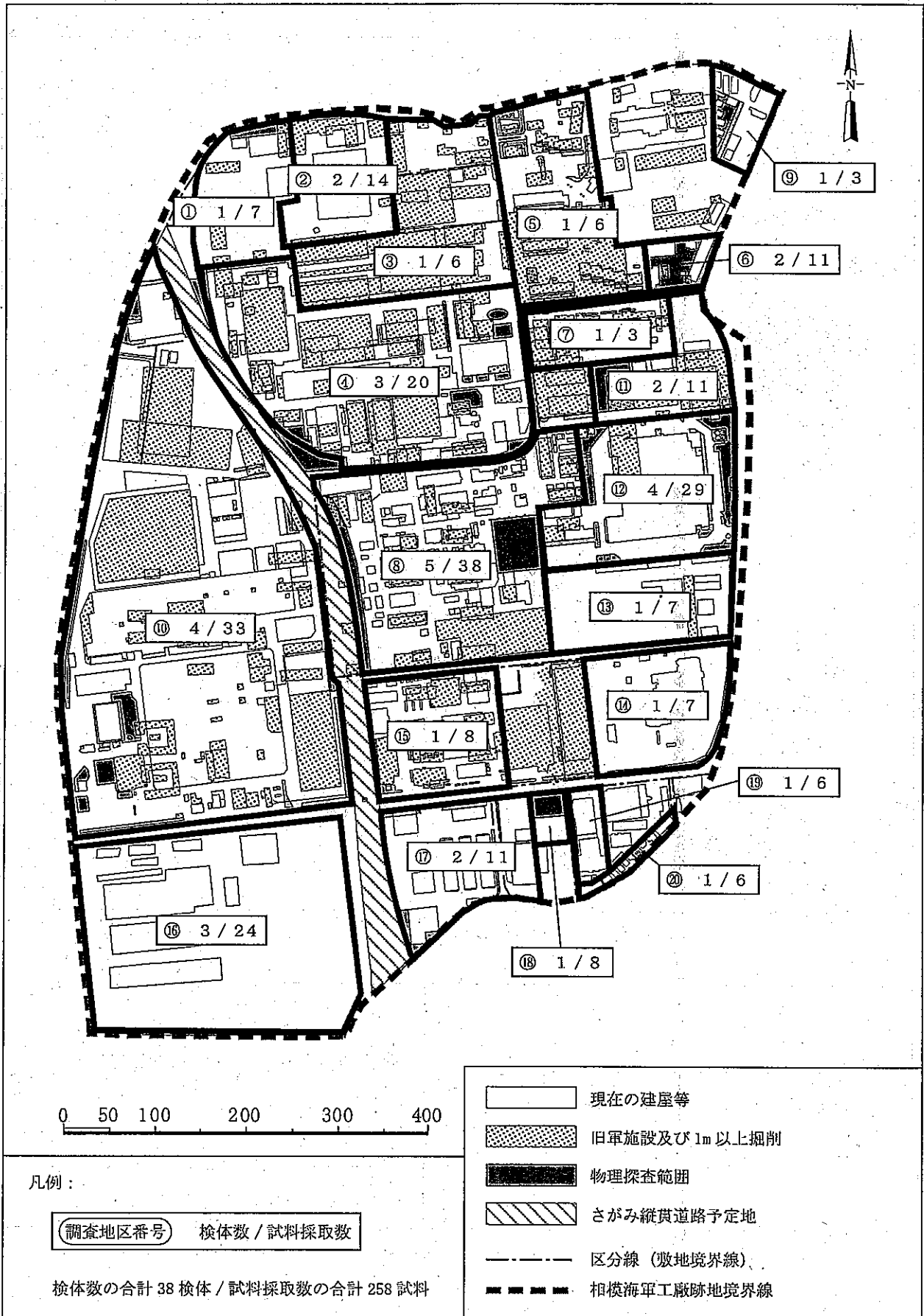
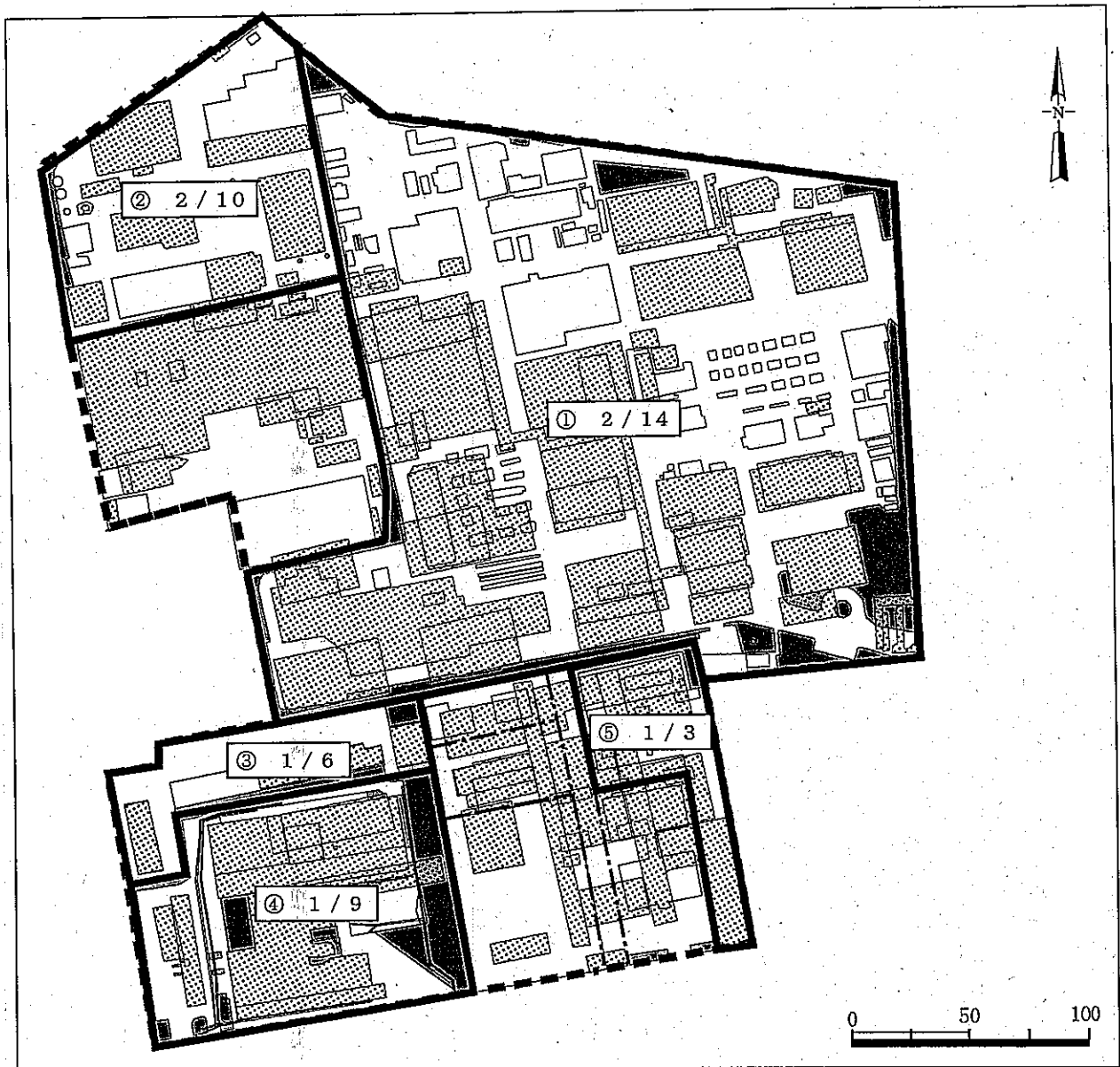


図2-2 平塚市における土壌調査位置図



| | |
|---|--|
| <p>凡例：</p> <p>調査地区番号 検体数 / 試料採取数</p> <p>検体数の合計約7検体 / 試料採取数の合計42試料</p> | <ul style="list-style-type: none"> 現在の建屋等 旧軍施設及び1m以上掘削 物理探査範囲 区分線（敷地境界線） 相模海軍工化学実験部跡地境界線 |
|---|--|

図2-3 習志野市及び船橋市における土壤調査位置図

